

第26回恵那市歴史的風致維持向上計画協議会 会議要旨

日時：令和6年5月21日（火曜日） 10：00 ～ 11：00

場所：恵那市役所会議棟大会議室

公開又は非公開の別 公開

出席者

後藤俊彦副会長、森川彰夫委員、鈴木繁生委員、石井伸吾委員、高井哲也委員、
鈴木幸宣委員、長谷川公盛委員

欠席者

出村嘉史会長、長谷川良夫委員、堀誠委員

傍聴者 0名

1. 開会 (10 : 00)

2. 委員の委嘱

任期（令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）にて委員を委嘱した。

3. あいさつ

4. 会長・副会長の選出

鈴木繁生委員が会長に出村嘉史委員、副会長に後藤俊彦委員を推薦。全会一致で決定。

5. 議事

令和 5 年度 恵那市歴史的風致維持向上計画進捗評価について

- ・資料 1 恵那市歴史的風致維持向上計画について

資料に基づき事務局から説明

- ・資料 2 令和 4 年度進捗評価シートについて

資料に基づき事務局から説明

◆中山道保存修景整備事業

【森川委員】

西行塚から武並へ向かう道が未舗装になっている。数年前の大雨で崩れるなどして歩きにくい。舗装する予定はあるのか。

【事務局】

中山道の評価は 2 つに分かれている。1 つは利便性を求めたもので、舗装しているというもの。もう 1 つの考え方は、今の状態で昔の江戸時代の人々が歩いた道を見ることができるといのが観光客・文化庁から評価を受けている。

普通なら舗装していくが、このような状態で残っているところは非常に珍しい。こうした景観を残していくのも 1 つの考え方というような評価もある。通りにくいや危険がある場所については建設課等とも協議しながら応急処置で直しているが、現段階では今の景観がこの歴史的風致の中にマッチングしているという考えである。

【森川委員】

外国人が御嵩から中山道をずっと歩いていくというのをテレビで見た。道路の補修ももう少し崩れない方法で直していただきたい。

◆岩村城石垣修理事業

【鈴木委員】

6 月 2 日に岩村城跡の一斉清掃がある。参加いただけるとありがたい。

◆その他

【後藤副会長】

伝建地区内にある「美術の館」について、当初は原田芳洲の作品を主体に美術作品を置く計画だったが、実際は観光案内所みたいな使われ方をしている。原田芳洲は岩村出身の肖像画家だったが、自分を売り出すことをしなかったため、世にあまり知られていない。大井行在所で原田芳洲が描いた明治天皇の掛け軸もあることから、佐藤一斎や下田歌子のようにもっと世に出してもらえるような対応をしてほしい。

【森川委員】

明智町の山本芳翠の作品は展示されているので、同じように旧岩村振興事務所などに展示されていてもよいと思う。

【事務局】

美術の館は合併前の岩村町時代から動かれて、今の状態になっていると思われる。現在はそのまでの PR が不足しているので、例えば、観光協会のホームページなどで紹介するのも 1 つの手。また、原田芳洲だけではなく旧恵那市出身の画家を含めて、ひしや資料館などで出張して展示するといった展示のほうがよいと思われる。しかし、簡単に開催することはできないため、今後検討させていただきたい。

◆岩村城下町まちなみ保存事業

【鈴木委員】

伝建地区内の修理・修景は、計画に沿ってやっていると思うが、年々減少していると思われる。事業をしなければならぬ箇所はまだあると思われる。また、補助金の額が何十年も前の制度が始まった時から変わっていない。工事単価は今のほうが 3 割くらい高くなっていることから、当初に補助金を貰った人はだいぶ得していると感じる。

毎年 4 件くらい修理・修景事業があってもいいと思うが、国・県からの補助金が少なくなっているのか聞きたい。

【事務局】

補助金が出る条件などは毎年一緒くらいであるが、最近は決まってから所有者都合で事業を断念するケースが増えているという状況になっている。

【鈴木委員】

あと、防災計画はもちろん見直さないといけない。土蔵については防災の方から補助金が出ていると思うが、そういったことを周知してもらえるといいかなと思う。それこそ、昔設置した火災報知器がまだ動いているのかは不明だが、メンテナンス支援のような過去に火災報知器つけた人へのバックアップはしているのか。

【事務局】

当初から伝建地区の防災計画では、火災報知器をつけるところまでは市の方で補助をするが、設置後は個人の所有物になるため、その後の修理などは個人にお願いしているのが現状となっている。しかし、「どこで修理できるかがわからない。」などの相談については市で対応している。

令和 4 年度に「10 年以上経過した火災報知器を付け替えませんか。」という案内をしたところ、無線の不具合などの報告があった。当初約 60 件設置したのが、現在は約 20 件設置し稼働している。

【鈴木委員】

また補助金を出すなどの計画はあるのか。

【事務局】

もちろん補助の要綱は設けてあるので、つけたいという要望があれば適宜相談に乗っていく。

【鈴木委員】

このことは伝建地区内で周知しているのか。

【事務局】

その辺は、1 回つけて補助して終わりになっているもので、そこは課題として今後、周知をしていかないといけないと改めて思っている。

【後藤副会長】

補助は昔から半額でているが、個人又は町内で半額は出るというもので、なかなか進まないのが実情。たまたま私の町内は設置している。設置してから 10 年経過したため、最近、町内全戸取り替えた。しかし、隣近所に空き家が増えたため、隣同士でグループを組んだとしても、3 件のうち 2 件が空き家だと意味がない。

また夜中に誤作動が 1 回でもあると、「こんなものは、もういらない。」となって、勝手に自分で外してしまう人もいるのでなかなか難しい。

◆岩村城石垣修理事業

【鈴木委員】

令和 4 年度のコメントと同じだが、岩村城の三重櫓付近にコンクリートの壁がある。石

垣にするなどの修理はできないのか。

【事務局】

去年も同じ回答をしていると思うが、民地になっている。岩村城は民地問題を抱えた城であるため、慎重に対応していかないといけない。合併前からの経緯もあるため、対応方法については今後も検討していきたい。

【森川委員】

霧ヶ井前の未舗装部分も民地ということか。

【事務局】

公図に道と書いてあるところまでは、道路として舗装をしている。霧ヶ井手前からは民地になっているため、舗装はしていない。

【森川委員】

これが早く解決すると良いと思う。岩村城が国の史跡に指定されない理由になっていると思う。

6. その他

【事務局】

- ・資料 3 令和 6 年度歴史的風致維持向上計画事業計画について
資料に基づき事務局から説明。

7. 閉会 (11 : 00)